

第 62 期  
中間報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成21年9月30日

記録の未来を創造するティアック

**TEAC**

— ホームページ —

<http://www.teac.co.jp>

**TEAC**  
ティアック株式会社



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当社は平成21年9月30日をもって、第62期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の中間期を終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益が緩やかに改善するなど景気持ち直しの兆しが見えるものの、失業率は高水準にあり設備投資も減少しています。先行きについては、雇用情勢は悪化しているものの、景気の持ち直し傾向が続くと期待されます。為替は当中間連結会計期間は円高に推移し、また前年同期と比較すると大幅な円高が継続しており、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況下において、周辺機器事業の売上高は、100億2千7百万円（前年同期比43.8%減）、営業利益は4千5百万円（前年同期比95.8%減）となりました。主力の光ディスクドライブは前年同期と比較して、DVD-ROMは増収、コンボドライブはライフサイクルが終焉に近づきつつあることから減収となりました。スーパーマルチドライブは、市況は回復傾向にあるものの、光ピックアップメーカーからの部品調達がネックとなり、売上高は前年同期よりも減収となりましたが、下期は徐々に回復していく見込みです。ディスクパブリッシング分野は景気後退の影響が大きく、まだ回復が遅れておりますが、第3四半期以降は新製品が寄与し始めるため徐々に上向き見込みです。

コンシューマ機器事業では、売上高は30億1千7百万円（前年同期比19.7%減）となり、営業損失は3億4千5百万円（前年同期営業損失1億3千7百万円）となりました。一般AV機器（TEACブランド）は米国得意先への納入がやや活発化してきているものの、当中間連結会計期間も景気後退局面の影響が継続し十分な改善には至っておりません。一方、英国、カナダなどの量販店とは納入契約を結ぶことができましたが、商品の納入は第3四半期以降になることから、当中間連結会計期間の販売には貢献しませんでした。高級AV機器分野（ESOTERICブランド）も海外市場全般に高級品の落ち込みが継続しており、日本国内では、輸入品は引き続き堅調ながら、SACD、アンプは新製品投入が第3四半期以降のため当中間連結会計期間は低調に推移しました。

プロフェッショナル機器事業では、売上高は34億9千4百万円（前年同期比23.1%減）となり、営業利益は2億6千1百万円（前年同期比47.8%減）となりました。音楽制作オーディオ機器の販売は、新製品の投入が功を奏し引き続き堅調に推移しましたが、金融危機後の景気悪化に伴う設備投資抑制により設備用オーディオ機器の需要が落ち込み、また円高の影響もあり減収となりました。当事業では主力事業として開発投資等を増強した結果、9月単月で14機種の新製品の投入を実現しました。しかしながら、新製品投入による本格的な収益の増加は第3四半期以降になるため、売上減少分

をカバーできず、結果として前年同期と比較して減収減益となりました。

情報機器事業では、売上高は12億8千2百万円（前年同期比43.4%減）となり、営業損失は2億7千3百万円（前年同期営業利益3億6千7百万円）となりました。第1四半期から市場の状況は大きくは好転していないものの、徐々に回復の兆しも見え、底は脱したものと見られます。しかし、航空機搭載用記録再生機器の業績は引き続き厳しい状況が継続しています。その他計測機器、トランスデューサー関連商品も設備投資抑制の影響を受け低調でしたが、自動車・半導体業界の引合いも徐々に増えてきており、第3四半期以降改善の傾向にあります。通話録音機器も下期は前年並みに達する見込みであり、第3四半期以降医用画像記録機器も順調に推移し、新製品の導入効果も期待でき、今後は回復基調と見られます。

その他事業では、売上高は2億8千4百万円（前年同期比36.1%減）となり、営業損失は1千1百万円（前年同期営業損失4千3百万円）となりました。介護支援ケアシステム事業（コメントケア）が、前年同期よりも増収となったものの、ソリューションビジネス事業においては、景気回復の遅れにより受注が減少した影響から減収となりました。その他事業の全体では販売費及び一般管理費の削減もあり、前年同期と比較して減収増益となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は181億5百万円（前年同期比37.3%減）となり、営業損失は11億2千2百万円（前年同期営業利益8億9千6百万円）、経常損失は13億6千1百万円（前年同期経常利益5億8千7百万円）と減収減益となりました。中間純損失は、経常利益の減少に加え、国内および海外生産子会社において生産の減少に伴う構造改革費用を計上したことによる特別損失の発生により、15億6千1百万円（前年同期中間純利益1億4千3百万円）となりました。当社の場合、下期に利益が集中する傾向にあり、通常、中間連結会計期間の業績は低調となる傾向にありますが、当中間連結会計期間は景気悪化に伴う売上高の減少と為替の円高の影響により、大幅な減収減益となりました。

当社は、厳しい現状認識の上に立ち、グループ一丸となってさらなる努力を傾注してまいります。何卒今後とも引き続き格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

代表取締役社長

英 裕 治

# 中間連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位:百万円)

## ●事業別売上高および営業利益 (連結)

### 周辺機器事業

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	増 減	増 減 率
売 上 高	10,027	17,848	△ 7,821	△ 43.8%
営 業 利 益	45	1,064	△ 1,019	△ 95.8%

### コンシューマ機器事業

	当中間期	前中間期	増 減	増 減 率
売 上 高	3,017	3,755	△ 738	△ 19.7%
営 業 利 益	△ 345	△ 137	△ 207	—

### プロフェッショナル機器事業

	当中間期	前中間期	増 減	増 減 率
売 上 高	3,494	4,544	△ 1,050	△ 23.1%
営 業 利 益	261	500	△ 239	△ 47.8%

### 情報機器事業

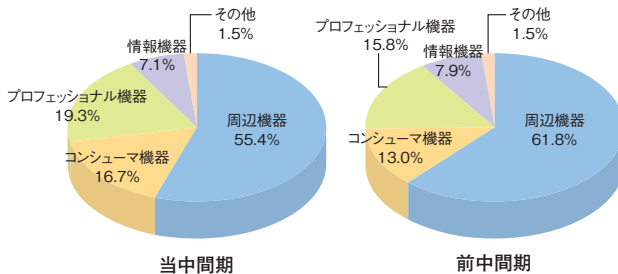
	当中間期	前中間期	増 減	増 減 率
売 上 高	1,282	2,264	△ 981	△ 43.4%
営 業 利 益	△ 273	367	△ 640	—

### その他事業

	当中間期	前中間期	増 減	増 減 率
売 上 高	284	445	△ 161	△ 36.1%
営 業 利 益	△ 11	△ 43	31	—

(注) 親会社および連結子会社の配賦不能営業費用は、当中間期798百万円、前中間期856百万円であります。

## ●事業別売上構成



科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産	19,546	I 流 動 負 債	12,477
現金及び預金	4,364	支払手形及び買掛金	3,859
受取手形及び売掛金	7,340	短期借入金	5,205
商品及び製品	5,215	1年内償還予定の社債	80
原材料及び貯蔵品	1,530	1年内返済予定の長期借入金	511
その他	1,250	リース債務	24
貸倒引当金	△ 154	未払金	444
II 固 定 資 産	5,097	未払費用	1,144
(1) 有形固定資産	3,813	未払法人税等	185
建物及び構築物	1,416	繰延税金負債	80
機械及び装置	397	賞与引当金	279
車両運搬具及び工具器具備品	589	製品保証引当金	361
土地	1,319	返品調整引当金	110
リース資産	81	その他	189
建設仮勘定	8	II 固 定 負 債	8,311
(2) 無形固定資産	424	社 債	80
の れ ん	66	長期借入金	166
ソフトウェア	192	リース債務	51
その他	165	繰延税金負債	12
(3) 投資その他の資産	859	退職給付引当金	7,877
投資有価証券	226	その他	124
長期貸付金	0	負 債 合 計	20,788
繰延税金資産	86	純 資 産 の 部	
破産更生債権等	225	I 株 主 資 本	8,048
その他	545	資 本 金	6,781
貸倒引当金	△ 224	資 本 剩 余 金	1,008
資 産 合 計	24,644	利 益 剩 余 金	364
		自 己 株 式	△ 105
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 4,192
		その他有価証券評価差額金	20
		為替換算調整勘定	△ 4,213
		純 資 産 合 計	3,855
		負 債 及 び 純 資 産 合 計	24,644

## 中間連結損益計算書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		18,105
売 上 原 価		12,836
売 上 総 利 益		5,269
販売費及び一般管理費		6,391
営 業 損 失		1,122
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	12	
受 取 配 当 金	3	
そ の 他	57	73
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	124	
売 上 割 引	93	
手 形 売 却 損	8	
た な 卸 資 産 廃 棄 損	4	
為 替 差 損	78	
そ の 他	3	313
経 常 損 失		1,361
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	1	
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0	2
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 売 却 損	0	
特 別 退 職 金	183	
そ の 他	12	195
税 金 等 調 整 前 中 間 純 損 失		1,555
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	15	
法 人 税 等 調 整 額	△ 9	6
中 間 純 損 失		1,561

## 中間連結株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成21年3月31日残高	6,781	1,008	1,926	△ 104	9,610
中間連結会計期間中の変動額					
中 間 純 損 失			△ 1,561		△ 1,561
自 己 株 式 の 取 得				△ 0	△ 0
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 1,561	△ 0	△ 1,562
平成21年9月30日残高	6,781	1,008	364	△ 105	8,048
	評価・換算差額等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成21年3月31日残高	△ 8	△ 3,678	△ 3,687	23	5,946
中間連結会計期間中の変動額					
中 間 純 損 失					△ 1,561
自 己 株 式 の 取 得					△ 0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	29	△ 534	△ 505	△ 23	△ 528
中間連結会計期間中の変動額合計	29	△ 534	△ 505	△ 23	△ 2,091
平成21年9月30日残高	20	△ 4,213	△ 4,192	—	3,855

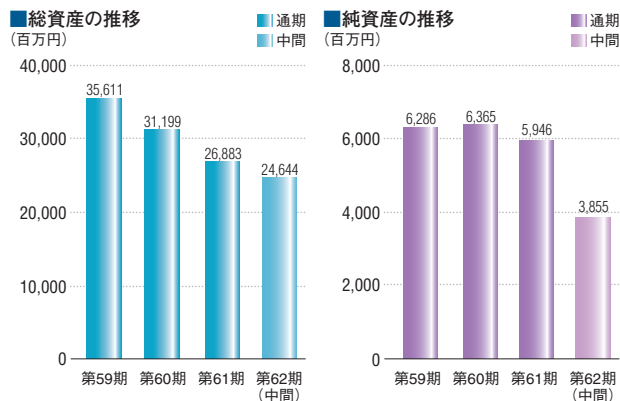
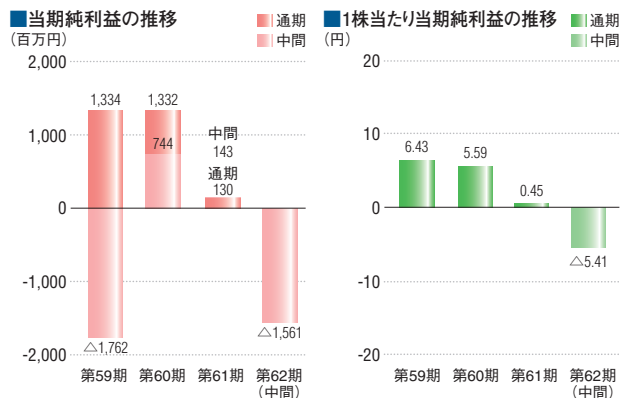
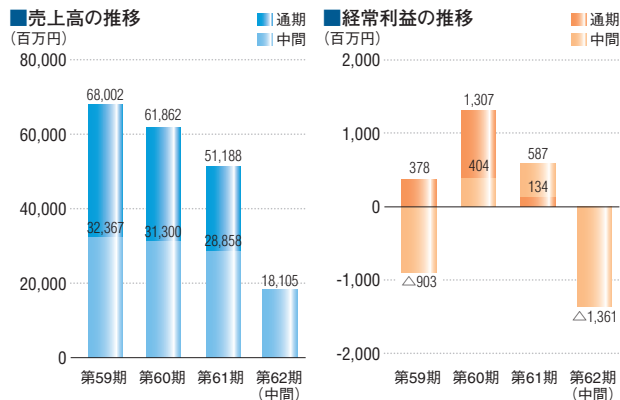
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 90
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 3,286
現金及び現金同等物期首残高	7,130
現金及び現金同等物中間期末残高	3,844

## 業績の推移 (連結)



## 中間貸借対照表 (単体)

(平成21年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
I 流動資産	11,770	I 流動負債	11,558
現金及び預金	2,090	支払手形	424
受取手形	87	買掛金	1,948
売掛金	6,668	短期借入金	7,401
商品及び製品	1,997	1年内償還予定の社債	80
原材料及び貯蔵品	546	1年内返済予定の長期借入金	511
前払費用	177	リース債務	20
関係会社短期貸付金	122	未払金	286
未収金	423	未払費用	405
その他	104	未払法人税等	30
貸倒引当金	△ 448	前受金	19
II 固定資産	13,685	預り金	98
(1) 有形固定資産	2,116	賞与引当金	188
建物及び構築物	600	製品保証引当金	96
機械及び装置	15	返品調整引当金	46
車両運搬具及び工具器具備品	162	II 固定負債	8,031
土地	1,277	社債	80
リース資産	59	長期借入金	159
(2) 無形固定資産	79	リース債務	39
ソフトウェア	76	退職給付引当金	7,738
その他	3	その他	14
(3) 投資その他の資産	11,489	負債合計	19,589
投資有価証券	226	<b>純資産の部</b>	
関係会社株式	10,239	I 株主資本	5,845
関係会社長期貸付金	590	資本金	6,781
破産更生債権等	221	資本剰余金	1,008
長期前払費用	26	資本準備金	1,008
敷金及び保証金	223	利益剰余金	△ 1,837
その他	183	その他利益剰余金	△ 1,837
貸倒引当金	△ 221	繰越利益剰余金	△ 1,837
資産合計	25,456	自己株式	△ 105
		II 評価・換算差額等	20
		その他有価証券評価差額金	20
		純資産合計	5,866
		負債及び純資産合計	25,456

## 中間損益計算書（単体）

（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額	
売 上 高		14,298
売 上 原 価		10,973
返品調整引当金戻入額		21
売 上 総 利 益		3,347
販売費及び一般管理費		4,067
営 業 損 失		720
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	3	
受 取 配 当 金	3	
受 取 地 代 家 賃	55	
そ の 他	11	73
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	117	
手 形 売 却 損	4	
為 替 差 損	58	
そ の 他	15	195
経 常 損 失		842
特 別 損 失		
子会社株式評価損	32	
貸倒引当金繰入額	120	
そ の 他	0	152
税引前中間純損失		995
法人税、住民税及び事業税		3
中 間 純 損 失		998

## 中間株主資本等変動計算書（単体）

（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算 差 額 等	純資産計 合
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計		
		資 本 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金			そ の 他 債 券 差 金 評 価	
平成21年3月31日残高	6,781	1,008	△ 838	△ 104	6,845	△ 8	6,836
中間会計期間中の変動額							
中 間 純 損 失			△ 998		△ 998		△ 998
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額（純額）						29	29
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 998	△ 0	△ 999	29	△ 970
平成21年9月30日残高	6,781	1,008	△ 1,837	△ 105	5,845	20	5,866

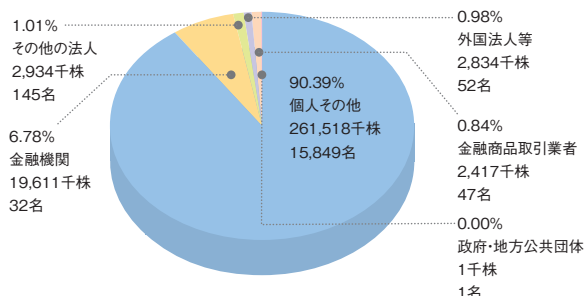
## 株式事項

(平成21年9月30日現在)

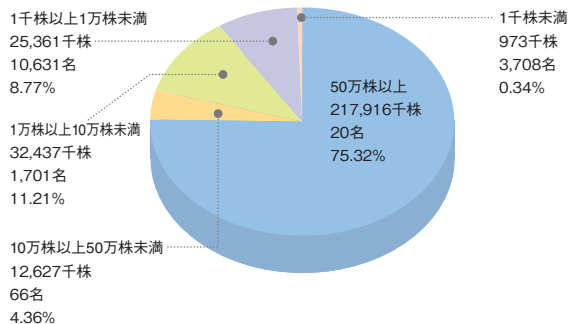
- 発行可能株式総数…………… 400,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 289,317,134株
- 株主数…………… 16,126名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	出資比率（%）
フェニックス・キャピタル・パートナーズ・ワン投資事業組合	177,063	61.20
ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	18,000	6.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
明治安田生命保険相互会社	2,359	0.81
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
日本証券金融株式会社	1,928	0.66
日本生命保険相互会社	1,873	0.64
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.42
ティアック社員持株会	1,120	0.38

### 株式所有者別状況



### 株式所有数別状況



## 役員

(平成21年9月30日現在)

取締役会長	坂井 淑 晃
代表取締役社長	英 裕 治
常務取締役	前中 茂 志
取締役	野村 佳 秀
取締役	中尾 光 成
取締役	貴島 彰
取締役	前野 龍 三
常勤監査役	牧野 信 明
監査役	辻 武 保
監査役	安井 桂之介
監査役	平岡 繁

## 会社の概要

(平成21年9月30日現在)

- 商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
- 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
- 設立 昭和28年(1953年)8月26日
- 資本金 67億8,105万8,352円
- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 代表者 代表取締役社長 英 裕治
- 従業員数 単体 477名 連結 2,847名

### ●主なグループ事業内容

#### 周辺機器事業

- コンピューター周辺機器
- 民生用および産業用製品向けドライブ
- ディスクパブリッシング機器

#### コンシューマ機器事業

- 高級AV機器
- 一般AV機器

#### プロフェッショナル機器事業

- 音楽制作オーディオ機器
- 特殊イヤホン機器

#### 情報機器事業

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録機器
- 計測機器 (トランスデューサー、データレコーダー)
- 通話録音機器

#### その他事業

- 業務用パッケージソフトウェア
- 介護支援個別ケアシステム

### ●オリジナルブランド

ティアック、タスカム、エソテリック

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。